



おーさむこそむ冬の風あれ〜木の葉

が六つ七つひら〜と舞ふてゆ

あれはどこまで飛んでゆく

と太郎さんは御縁側で風にまふ木の葉を
面白さうに見て歌って居りましたが不意

に
木母さん〜アノネ、木の葉があんなにお

ちても木は寒くないの？」

と問ひかけました。すると母様は

「あ〜ちつとも寒くないのだよ、あの葉が
落ちた跡を見るとネ幹や枝が寒風に吹
かれない様にちゃんとお障子が出
来て居ますよ」と云ひました。（雪子）

蟻の話

小柳雪子

二

或處に哲ちゃんといふよい子がありました或日哲ちゃんはひろいお庭のお池で出来上ったばかりのお船をうかべまして進水式をして居りました。處が木の葉のお船に乗って流れて來ました一匹の蟻がつひ大風に舵を折られて船がひっくりかへりましたものですから遊げない蟻は溺れかゝって大困りに手足をうごかして居ました、之を見つけた哲ちゃんは自分のお船もわすれてあゝ可愛そうにと他の木の葉をなげてやりました。處が蟻はすぐにそれに乗りましたが此儘ではまたひっくりかへるといけなからと陸にあげてやりました。

そ—したら蟻は嬉しそうにあの角を上げて「く」ノ字なりに曲げたり伸したり何かして居ますから面白い事をするとながめてますと、歩き出しました、さあ何處へ行くかしらんとついてゆきますと、向ふから一匹のなかまが來ましたら何んだかまた角をかちくさせて居ましたが哲ちゃんに丁寧におぢぎをして先きになつてまたあるき出しました、がそれはいそぎ足で行てしましました、はじめの蟻は哲ちゃんか歩くのをよすと止まつてまつて居、また歩き出すと歩き出して案内するやうにしますからそのあとへついてゆきますと、やがて五六百兩側へ「右へならへ」をしたやうに、ならびまして鍬のやうなものを高くあげて、

恰度「捧ゲ銃」をして王様のお通をまつて居ますやうです。

哲ちゃんはこれは面白い處へ来たものだとおもひましたらそれ
さつき途中であひました一匹ねそれがその真中を通りて来てま
た助けてやったのと角をかちくさせて哲ちゃんにお辭儀をし
て案内しますのでついてゆきました。處がこれはおどろきまし
た哲ちゃんのお丈の七倍位の高い立派な煉瓦のやうな壁のやう
な土色のおうちが澤山ならんで居ました。こんなお家を初めて
見ましたので一躰どんな人が居る處なのかしらんと、そこいら
を見廻して居ましたら、つひ先程の案内の蟻が見えなくなりまし
た、困ったナと思つて居ましたら「命の親の大明神哲ちゃんどうぞ
こちらへお通り下さい」と立派な御門がギーと開きました、そして
さっきの兵隊がまたならんで居て助けてやった一匹は冠を戴い

た王様でお側の人を澤山つれて静かに出て來られ

「先程は危い處をお助け下さいまして有がたう御座りましたよ
くこそお出下されました

と丁寧にお禮を申ますので哲ちゃんは

あゝ何もそんなお禮なんかよし給へ僕はたゞ可憐さうだった
から助けてあげた斗りさ、時に蟻さんこゝは一躰何處なので
しやう本當に立派なお家が澤山ありますね

と申ますと

いゝえどう致しましてこゝは私共の住居で御座りますどうも
蟻の住家でござりますから奇麗な事はございませんがお氣に
召しましたならば暫く御休息下さいそして諸處御案内いたし

たいと存じますすまあズーと

と話ながら奥へ案内されてまゐりましたら廣いお庭にいろく
奇妙な石や岩があり中にはきらく光りますのも眞白なものもさ
まゝありますその南向のお部屋へまゐりましたらこゝには
鏡があり大理石で壁が出来て居ますそこに一人蟻とはちがふも
のが居ましてその人が哲ちゃんおまち申ましたと頭髮や衣物の
塵埃をすっかりはらつてくれましてそれから王様のは頭から體
ばかりでなくお鬚の處について居ましたごみ迄はらふてやりま
した。まあ何んといふ名の人かしらんと思ひましてそのまゝ會
釋して。大きなお座敷へ通りました。

やがて綺麗な少女が御馳走を運んでまゐりまして食卓に一ぱい

になりました、王様は

どうぞお口にはあいますまいが召しあがっていただけましたうで
ぎります

ともう哲ちゃんには王様の命の親といふので丁寧なおあつかひを
いたゞきなから

ありがたう初めてゞす

と快活に答へて卓に向ひましたらその御馳走は「いもむし」のソフ
ライ「けむしのキャベツ巻」「あさむし」の糖蜜煮をしてそのソフ
スは皆糖蜜でミルクは蚜蟲ミルクですとてもふたん食べられま
せんおいしいものばかりなので。大よろこびでたべました處が
哲ちゃんにはふだんいたゞきつけませんもので糖蜜などを着物へ

つけましたそしたら王様が「クラブゲル」とおよびになりましたらぎっき着物をきれいにしてくれました人が出て来てきれいに拭いてくれました。もう澤山と申ましたら、では暫く御ゆっくり直しましてそれから又諸處御案内いたしましたしやう、まあすこし此の新聞でも御らん下さい近々に國際問題がどうなりますかと何れも心配して居ります處ですなど、哲ちゃんにはわかりませんがこんな事をいひながらいろく面白いお話をきかされました。これが案内して見せてもらひませんとわかりませんから此次にいたしましやう

